

第2課 外見より中身

人間くらい外見に影響されるものはいないだろう。古い田舎の駅がきれいになると、そこを利用する人の服装や様子などまですっかり変わってしまうこともある。病院の医者や看護婦の服は白と決まっていたが、最近は病院に来る人の気持ちを考えて、青やピンクを使う所が多くなった。

外見といえば、アメリカの大統領選挙では、背の高い人のほうがずっと勝ってきたという、嘘のような本当の話がある。ある大学の卒業生のうち、背の高い人のほうが背の低い人と比べると給料が多かったというデータもある。これは背が高い方が立派に見え、人にも信頼されやすくなるという、いい例ではないだろうか。

ところで、日本人がよく使う名刺に書かれている会社名や肩書きも外見の一つと考えられる。有名な会社名の入った名刺をもらえば、それだけで人は安心するし、その横に部長の肩書きでもあれば、その信頼はもっと確かになる。外見だけで人を判断するなどよくいわれるが、実際にはそれだけで人を見ていることが多い。もちろん昔からいわれている「外見より中身」ということは本当のことだ。いくら外を飾っておしゃれをしても、中身がなければ何にもならない。しかし、社長になってから前よりずっと立派になったという人の例もあるのだから、外側も作ると同時に中身を良くすることも大切である。理想をいえば、中身も外見も立派になることであろう。

新しい言葉

<small>がいけん</small> 外見[名]	外貌；外观；外面，表面
<small>ようす</small> 様子[名]	仪表，姿态；样子，神情；情况，动向；迹象
すっかり[副]	全，都；完全；已经；非常
ピンク[名]	粉色；色情
<small>だいてうりょう</small> 大統領[名]	总统；老板
<small>せんきょ</small> 選挙[名・他サ]	选举，推选
ある[连体]	某；有
<small>きゅうりょう</small> 給料[名]	工资，薪金，薪水
データ[名]	数据；资料，事实

りっばみ 立派に見える[词组]	显得优秀；看起来优秀
しんらい 信頼[名・他サ]	信赖
ところで[接・接助]	可是，有时（转换话题时用）；即使……也……
めいし 名刺[名]	名片
かたが 肩書き[名]	头衔，官衔；称呼；地位
たし 確か[形动 副]	确实，确切；可靠，信得过；正确；大概，也许
はんだん 判断[名・他サ]	判断；占卜
じっさい 実際[名・副]	实际；事实；的确，确实
なかみ 中身[名]	内容；容纳的东西
おしやれ[名・形动・自サ]	好打扮，好修饰，时髦
なん 何にもならない[词组]	无济于事
どうじ 同時[名]	同时；同年代

言葉の使い方

1. すっかり

意味A：残すところなく、すべて。完全に。（全，都；完全。）

○明日のイベントの準備はすっかり終わった。/明天的活动已经全都准备好了。

意味B：時間的には、もう…。（已经。）

○徹夜で仕事していて、気がいたらすっかり夜が明けた。/彻夜工作，等到回过神来，天已经大亮了。

意味C：とても、はなはだ。（非常。）

○彼女はすっかりふけこんでしまった。/她已经非常苍老了。

2. ところで

意味A：[接]話題を変えるときに使う語。（用于句首，转换话题。）

○ところで、仕事のほうはどうですか。/话说，你的工作怎么样了？

意味B：[接助]たとえ…したとしても。（用于句中，即使……，也……）

○どんなに本をたくさん買ったところで、読まなければ何にもならない。/即便买再多的书，不看的话也是没用的。

3. それだけ

意味A：そのことだけ。(唯独那个。)

○それだけはなんとしても避けたい。/唯独那个，无论如何也要避免。

意味B：そのくらい、その程度。(就只有那些，就只有那种程度。)

○商品の在庫はもうそれだけですか。/商品的库存就只有那么多了吗？

意味C：その程度に応じて。(相应。)

○努力すればそれだけの結果が出せるでしょう。/只要努力，就会得到相应的结果。

4. 確か

意味A：[形動]確実である、間違いのないさま。(确实，确切，准确。)

○確かな証拠がある。/有确凿的证据。

意味B：[形動]当てになる。信用できる。(可靠，保险。)

○案内人を連れて行ったほうが確かだ。/还是带个向导去比较保险。

意味C：[副]断言はできないが、たぶんそうだろうという気持ちを表す。(大概。)

○国を出たのは確か1月10日だったと思います。/出国的时间大概是1月10日吧。

文法解説

1. AくらいBはない

意味：AほどBはない。(再也没有比……更……的了。)

接続：名詞＋くらい/動詞辞書形＋くらい

○象くらいたくさん食べる動物はいません。/没有比大象更能吃的动物了。

○外国で病気をするくらい心細いことはない。/再也没有比在外国生病更让人感觉无依无靠的事情了。

2. AといえばB

意味：その場の誰かが話題にしたこと、または自分の心に思い浮かんだ事柄を取り上げて話題にする時の言い方。(以当场某人作为话题提及的、或是将自己内心想到的事情作为话题讲述时使用。说到……，提起……)

接続：名詞＋といえば/普通体＋といえば

○お正月の楽しさといえば、やっぱりお年玉をもらうことですね。/说起新年的乐趣，还是收到压岁钱的事情啊。

- 「昨日の雨は記録的な大雨だったですよ。」/昨天的大雨可真是创纪录的啊。
「記録的といえ、今年の暑さも相当でしたね。」/说起创纪录，今年的盛夏高温也毫不逊色啊。

3. A ような B・A ように B

意味：例示、同等、比喻などの意を表す。（像……那样；如同……一样。）

接続：動詞普通形＋ような・ように/名詞＋の＋ような・ように

- 彼女はそんなことを言うような人ではない。/她不像是会说那种话的人。
○駅や空港のように人が多い所では、自分の荷物に気をつけましょう。/在车站和机场等人多的地方，请注意保管好自己的行李。

4. A と同時に B

意味：①A とほぼ同じ時に B。（与……同时。）

②A。一方 B。（一方面……，另一方面……）

接続：動詞辞書形＋と同時に/形容詞＋と同時に/名詞＋である＋同時に

- 終業のベルと同時に外へ飛び出した。/下班铃声一响就飞奔出去了。
○よい品を作ることに努力すると同時に値段を安くすることも考えている。/一方面要努力做出好的产品，另一方面也要考虑降低价格。

総合練習

問題1 本文を読んだ後で次の1・2・3・4の中から最もよいものを一つ選びなさい。

- ① 「これは背が高いほうが立派に見え、人にも信頼されやすくなるという、いい例ではないだろうか」とあるが、ここで「これ」は何を指しているか。

- 1 アメリカの大統領選挙では、背の高い人のほうがずっと勝ってきたという話
- 2 大学の卒業生のうち、背の高い人のほうが背の低い人と比べると給料が多かったというデータ
- 3 1と2のどちらか
- 4 1と2の両方

- ② 次のどの名刺をもらえば、一番安心できるか。

- 1 会社名も肩書きも書かれている名刺

- 2 有名な会社名だけが入った名刺
- 3 有名な会社名に部長の肩書きが書かれている名刺
- 4 会社名と部長の肩書が入った名刺

③ 「外見だけで人を判断するなどよくいわれる」の意味に当たる言い方は次のどれか。

- 1 人々はよく外見だけで人を判断してはだめと言います。
- 2 人々はよく外見だけで人を判断すると言います。
- 3 人々は外見だけで人を判断するのはよいと言います。
- 4 人々は外見だけで人を判断するのはよくないと言います。

④ 筆者がこの文章の中で一番言いたいのは次のどれか。

- 1 人間くらい外見に影響されるものはいない。
- 2 外側も作ると同時に中身を良くすることも大切である。
- 3 「外見より中身」ということは本当のことだ。
- 4 「外見より中身」だから、外を飾っておしゃれをしなくてもいい。

問題2 ()に入れるのに最もよいものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

- ① 今日のテストの問題は、全然勉強しなかったので、()わからなかった。
1 たっぷり 2 ざっと 3 すっかり 4 さっぱり
- ② 担任の先生が入ってきたら教室は()になった。
1 じっと 2 ずっと 3 しいんと 4 そっと
- ③ もうすぐ今年も終わりますね。()お正月は故郷へ帰るんですか。
1 まず 2 もう 3 ところが 4 ところで
- ④ 飲み物はワインがいいんですか、()ビールにしましょうか。
1 それとも 2 ところで 3 けれども 4 それでは
- ⑤ 「今度の研修旅行には、工場見学も日程に入っていました()。」
「時間的に無理だというんで除かれたんだよ。」
「あ、そうですか。残念ですね。」
1 だって 2 つけ 3 んなら 4 だけに

問題3 ()に入れるのに最もよいものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

- ① 日本ではこの程度の地震は、おどろく（ ）のことではない。
1 ほど 2 べき 3 ばかり 4 くらい
- ② 「この間のスキー、楽しかったね。」
「スキー（ ）、山田さん、県の大会で優勝したんだって。」
1 としては 2 といっても 3 というより 4 といえば
- ③ この劇場は、一番後ろの座席でもよく聞こえる（ ）設計されている。
1 ために 2 ように 3 だけに 4 ことに
- ④ 金持ちだ（ ）、必ずしも寄付をしてくれるとは限らないよ。
1 からいえば 2 からは 3 からといって 4 からして
- ⑤ この作家の作品は、若い女性（ ）読まれている。
1 を中心に 2 と同時に 3 と思えば 4 をもとにして

問題4 次の文章を読んで ① から ⑤ の中に入る最もよいものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

スポーツでも上達するためには何度も同じ練習を繰り返す必要がある。

日々の訓練によって筋肉に動きを覚えさせる。おしゃべりも基本的には同じで、体で覚えなければ上達しない。

会社で地位が上がったり、有名になると、人前でしゃべる機会が多くなる ①、スピーチが ② うまくなっていくような気がする。スピーチが上達していくのは、何度も場数を踏むことで緊張しにくくなるためでもあるが、それ以上に、受けるポイントが体で分かってくるためではないだろうか。(中略)

スピーチをする ③ に困るのは、自分がしゃべっているうちに会場が白けてしまうこと。こうなるとよけいに緊張が高まって、スピーチもしどろもどろになってしまう。こんな時に事前に用意しておいた「笑いのツボ」、つまり絶対に受ける話をすれば会場が一気になごみ、話を聞いてもらえる環境を作ることができる。

④ 普通の人にはスピーチやあいさつをする機会はそんなに多くないので、「受けるパターン」を体で覚えるところまではいかないと言う人もいるだろう。

しかし、しゃべりというのは何もパーティー会場だけではありません、会社の朝礼や取引先との会話など普段からしているもの。日ごろの会話の中でも、自分のネタが受けているかどうかを客観的に判断するように意識することが肝心である。

そして、少しでも受けたネタがあったら、それを何回かつかってブラッシュアップし、絶対に受けるネタに仕上げていく。 ⑤、スピーチに自信が持てるようになる。

「継続は力なり」は、やはりおしゃべりにも通じる真理なのである。

(高嶋秀武『話のおもしろい人、つまらない人』による)

- | | | | |
|------------|-----------|---------|---------|
| ① 1 ように | 2 ため | 3 せいで | 4 せいか |
| ② 1 次第で | 2 次第に | 3 もっと | 4 もともと |
| ③ 1 さえ | 2 すら | 3 さい | 4 わけ |
| ④ 1 といったら | 2 というと | 3 といっても | 4 というなら |
| ⑤ 1 それにしても | 2 それは別にして | 3 それでも | 4 そうすれば |